

認知症を引き起こす主な3つの原因

【アルツハイマー病】

脳の神経組織にタンパク質のごみがたまって細胞が破壊され、その結果脳が委縮する病気です。委縮の程度によって認知症の様々な症状が現れます。

【レビー小体型認知症】

異常なタンパク質が脳の神経細胞内にたまる病気です。

【脳血管性認知症】

脳の血管がつまったり、壊れたりして血液が途絶え、脳細胞が死んだり、働きが悪くなってしまい起こる認知症です。

認知症？単なる物忘れ？

加齢に伴う年相応の物忘れと、認知症の物忘れは違います。

加齢による物忘れ	認知症の物忘れ
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全体を忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人が誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	食べたこと自体を忘れている
約束をすっかり忘れてしまった	約束したこと自体を忘れている
物覚えが悪くなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違えることがある

大切なのは、日々の予防と早期診断・早期治療

認知症の原因となる病気のなかには早期に治療すれば治せるものもあり、予防や早期発見・診断・治療を行うことで、効果が期待できることがあります。また、病気が理解できる時点で受診し、どう向き合い、どのように生活をしていくのかなどについて、医師などの専門家の意見を聞きながら準備や手配をしておきましょう。認知症であっても自分らしい生き方をすることが可能になるのです。